

団体交渉議事録（要旨）

1 日時等

令和3年（2021年）10月20日 17時30分から18時00分まで 3-3会議室

2 出席者

（1）宝塚市教職員組合6名 書記長、執行委員、組合員4名

書記長：■■■■、執行委員：■■■■

事務職員部長：■■■■、事務職員副部長：■■■■・■■■■、地区委員：■■■■

（2）教育委員会事務局6名 管理室長、教育支援室長、職員課長、職員課副課長、教育研究課副課長、職員課係長

3 議題

令和3年度（2021年度）事務職員部要求に対する回答

4 内容

（1）ICレコーダーでの記録の確認

（2）回答（別紙のとおり）

（3）質疑応答

【書記長】

団体交渉を受けて頂いてありがとうございます。事務職員部からということで、一度回答頂いたものの中で、再度確認させて頂きたいことが何点かありましたので、そちらについて市教委側の意見を聞かさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

（宝塚市教職員組合及び教育委員会事務局相互からの自己紹介）

【書記長】

それでは前回回答いただいた中から、3点再確認させていただきます。それでは■■■■さんからよろしくお願ひします。

【事務職員部長】

まずは、事務職員部からの要望の方に回答いただきましてありがとうございました。

回答の中から再確認させていただきたい事項の3点につきまして、今日はお願ひしたいと思ひます。

1項目目について、回答の方は要望の主旨が分からないので、お答えし兼ねますとのことだったんですが、再確認させていただきたいと思ひます。

病気休暇の申請時の事務手続きですが、学校長の方から職員課の方へ、事務処理について問い合わせがあった時の対応についてですが、事務職員へ診断書を渡しておいてくださいというだけの回答だった。学校長は担当事務職員と今までの病気休暇の経過状況を共有し、副申等関係書類を作成提出くださいと対応頂きたかったのが、このへんのご意見を伺ひしたかったのが、要望あげさせていただきました。

【職員課長】

職員課としては、学校長には丁寧に説明するようにします。手続きについては、必要に応じて学校長に状況確認をするなどしていただきたいと思います。色々な学校長がいらっしゃるので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【事務職員部長】

それでは、そのように対応お願ひします。

続きまして、手当の認定についてなんですが、臨時的任用職員の手続ということで、昨年度3月4日文書が出たんですが、1日も空かずに引き継ぎの任用であった場合なんですが、宝塚市同士の異動の場合には認定はそのまま書類は引き継ぐということなんですが、他市から本市に採用になった場合に、すべての教諭に対して書類の出し直し、認定のし直しということで文書が出ています。

他市の状況を聞きますと、職員の費用負担の軽減と、届出の役所等に出す申請の負担軽減というところで、何とか届出不要としていただきますようにお願ひしますということなんですが、いかがでしょうか。確認については毎年1回随時確認で確認しておりますので、それで事務改善の方にならないかということで、これはお願ひなんですが、よろしくお願ひします。

【職員課長】

まずは、回答文書の方を最初に読み上げさせてもらうんですけど、認定については、他市から引き継ぎであったとしても、変更になっていることも考えられるため、再度の認定が必要と考えています。今後、県から通知があった場合には検討しますとなっていますが、着任時に、学校において必ず他市で認定した書類と現在の状況に相違ないか本人に確認し、また、随時確認でも必ず確認をするのであれば、届出を不要にすることを検討しますということになってます。

今言われたように、新たに費用が出るのであれば、同じ県費負担教職員なので、そこについては一定の検討の余地があるのかなあと。こちらから具体的にお尋ねしたい

んですが、こちら側が転任された人の情報は持ってなくても大丈夫ですか？特に問題ないですか？配置しますってなった時に、市が同じであればある程度情報の共有は出来ると思いますが、他市になった時に、繋がりが無い時に、聞きにくいってなった場合に、その辺の支障は無いんですかね？

【事務職員部長】

市内でも、扶養親族が休職したり、職員が申告漏れがあれば市内でも漏れていくので、他市でも同じ状況だと思うんですけど。市内は良くて、他市は出し直しという負担がね。でも、扶養手当については随時確認は11月・12月なので、もし相違があった時は金額があまりの金額になるので、ちょっとというところもあるんですが、負担軽減と比べると、軽減の方が、

【職員課長】

実務的に他市から転任されてきた人の情報が無くてもいいのであれば、今言った負担の方が大きくなるので、別に検討してもいいのかなとは思いますが。

【事務職員部長】

随時確認の書類とかを他市から頂けるんだったら確認出来るんですけど、その辺は他市から言われた時に口頭でね、

【事務職員副部長（ ）】

1日も空かなかつたら、前任校から市またいでも書類もらえると思うので、

【職員課長】

廃止してしまえば、そういう事務手続きだから教えてもらえますかとか、しようと思えば出来ないことはないということですね。わかりました。

そうしましたら、こちらについては一応前向きには検討させていただきますので。

【事務職員部長】

3項目目についてなんですけど、事務職員の端末について、今年度当初に、何校くらいだったかな。事務職員の加配校が3校あったのと、共同研究加配の拠点校が異動になったことで、合計4校のパソコンの配置がすごく手間取って、事務職員がパソコンで作業できる状態になるのが、1ヶ月程度かかった。今後はそういった不備がないように、手続きというか、方法を確認したくてお話ししたいと思うんですが、今年度はこういった経緯でそういったことになったんでしょうか。

【職員課係長】

おそらく加配で増えた学校が2校と、共同事務の異動になったのが1校で合計で3校だと思うんですけど、遅れた理由としましては、事務的なところなんですけど、単純に話の中で、予備機が2台あるという風なところが、前々の話からあったので、そこを使うという方法と、予算的に、今まで職員が使っていたパソコンをそのまま持って行った方

が安いという方法の2つのせめぎ合いがありまして、その決定にまず時間がかかりました。

結局予算面をとって、今まで使っていたパソコンを次の学校に持っていくという形で収束はしたんですが、その時に既に4月に入ってしまったということもありまして、異動の方のパソコンの設定をまずは優先している状況であったので、事務職員さんのパソコンの設定が、追加の作業という形になるので、保守契約の契約から外れる部分のものであったので、そこで時間がさらにかかってしまった。最終設定変更して学校に持って行くまでに1ヶ月かかってしまったと。そういうのが実情です。

【事務職員部長】

それでしたら、どういう風にしたら、今年度もまたチェンジ等あるかもしれないし、異動で増減があるかもしれないんですけど、こういうことが起こらないためにどうしたらいいのかなあと、私も職員課の方にお問い合わせするのに考えてみたんですけど、生徒数と児童数と、あとクラス数の動向によって定員の配当とかが変わってくるので、生徒数も4月に抜けたりと、読むことが難しいと思うんですけど、その辺の状況を見て頂いて、教育研究課が予算の入れ替えとかをして頂いてるんですかね？

【職員課】

システムの変更ということですかね。

【事務職員部長】

システムの変更です。なので、その辺と連携して、今年度のようなことが無いようにして頂きたいんですけど、定員は学校数と、定員はわかるので、大規模加配がどうなるかというところと、業務改善加配が1人になるか2人になるか。事務職員では数はそういうことですよ。そこら辺の情報を早くキャッチして頂いて、パソコンの入れ替えもすごい時間がかかると思うんですけど、4月1日に兵庫ポータルを入力したりすることが出来ない、事務の方も困るので、そこらへんは本当に考慮頂いてお願いしたいところなんです。

【職員課長】

事務職員の端末については、正直言って、パソコンが無いと仕事にならないことは充分認識しています。今言われた情報を確認していきたいと思います。今回初めてということもあって予算をどうするのかとか、業者への発注をどうするのかとか、その辺の課題もあったので、次回更新時には必要台数を出来れば確保したいということと、システム変更が出てくる場合があるので、その場合の予算というのを来年度要求している。ですので、元々その予算が職員課に無かったので対応しにくい状況だったので、そこについては考えていきたいと思っている。ここら辺は絶対大丈夫ですと言い切れないところがあるので申し訳なんですけど、そういう支障があるということは認識しているので、

出来る範囲で対応はしていきたい。

【事務職員部長】

予算も年度末でなかなか厳しい状況だとは思いますが、今年度も逆瀬台小学校から西谷小学校の方にパソコンをただ単に移すだけは出来ないと。よくよく聞くと逆瀬台小学校から西谷小学校へ移すにも、学校仕様にするのに手数料が、費用がかかると聞いて、その予算についても、加配校が異動するっていうのはよくある事例じゃないですか。その辺の予算の確保はしっかりして頂いて、入れ替え作業自体はそんなに時間かからないですか。

【教育研究課副課長】

そうですね。パソコン自体を旧で使っていたのであれば、1ヶ月とかそういうことにはならないと思うんですけど。

【事務職員部長】

パソコンが故障したときに、たいだい早かったら当日にパソコンの予備機を配置していただくと聞いたことがある。

【教育研究課副課長】

そうですね。午前中くらいに壊れたと連絡いただけるのであれば、ウチは一応保守入ってますので、午後くらいには対応という形で。もし修理対応ということになれば代替機という対応になるかと思えますけど。

【事務職員部長】

内示の時点でそういうことが分かって、お金さえ準備して頂いていれば4月1日には間に合う状況になるんじゃないかなと思いますので、その辺の対応をお願いしたいと思います。

【事務職員副部長 ()】

今回職員課さんの予算でパソコン導入されたと聞いたんですけど。

【職員課長】

パソコンの導入ではなくて、システム変更の費用ですね。

【事務職員副部長 ()】

システムの変更費を職員課さんで負担されたと。パソコン自体を購入された訳じゃない？

【職員課長】

パソコンは購入してないです。台数は現状のままなので、どうしてもシステム変更しなければいけないんですけど。あとは、こちらが動向分かってても、引き上げますっていった時点で何らかの異動が分かってしまうじゃないですか。そこは悩ましいところなんですけどね。どこまで早く対応していいのかっていうところは、あんまり関係者に言

えないんで。予備機を教育委員会で持っているのであれば、設定変更して対応しますとか出来るんですが、そういう状況に無いので、機械更新でなんとかかと思ってますから。

【事務職員部長】

前任校で仕事もしなきゃいけないので、それを取り上げてしまうっていうのはね。難しいところですね。予備機が何台かあれば出来るなあとは思いますが。

【書記長】

次回更新時と課長おっしゃったんですけど、それはいつになるんですか？

【教育研究課副課長】

令和4年度の9月末、10月頭からになりますね。

【書記長】

今、令和3年度なので、来年の9月。

【職員課長】

令和4年度予算が通ればの話です。予算案として3月に議会通しますから、確定的なことは言えないんですけど。一応その見通しでやっていきますので、4年度の予算が通れば段取りしていきます。9月末に入っても設定がありますので、年内くらいに配置になると思うんですけど。教職員全体の分なので。

【書記長】

我々教職員の方も、今はなかなかパソコンが無いと仕事しづらいという状況にあるんですけど、特に事務職員のみなさんにはそれが無いとそもそも仕事にならないというところがあると思うんですよ。今年度当初に起きた課題については、我々としては来年度起こらないようにしていきたいというのが一番の願いなんです。次の年度の時には、次回更新時のことが起こって新しいパソコンでの、新しい年度の体制になるんですよ。その時に今回の課題を踏まえて、このようなことが起こらないシステム構築を市教委の方で考えて頂きたい。例えば、さっきも言ったように、市教委でストックを2つ3つと持っておいていただいて、何かあれば、それをパッと。人事異動の時に引き上げる訳にもいかないという話もあったので、それを市教委が持っている分でやりくりするか、そもそもシステムの部分をしっかり考えて頂きたいとは思ってるんです。

こういう形になるのは、予想できなかった部分もあると思うんですけど、この課題を同じことが起こらないように。結局4月になって毎年毎年パソコンが無いという状況が生まれることは、労働する側からしたら、仕事にならないということが一番困る状況ですので、そういう状況が生まれないシステムを考えて頂きたいし、4月から円滑に学校事務を行えるような体制を整えて頂きたいと思ってるんですけど、それを一番にお願いしたいと思います。それはどなたにお願いしていいのか僕も分からないんですけど。それは職員課になるのか、研究課になるのか。

【教育支援室長】

連携してということ、ここにはなっていると思いますので、児童生徒数の状況も連携とりながら、すぐに対応できるような形を徹底していきたいと思います。

【書記長】

よろしくをお願いします。

【事務職員副部長（ 〇〇〇〇 ）】

必要な数については、いつ頃職員課から研究課に伝わるんですか。

【職員課長】

年度の話、更新の話ですか？

【事務職員副部長（ 〇〇〇〇 ）】

新年度の事務職員の加配はここになるとか、複数配置になるとかいう情報は。

【職員課副課長】

最終は4月の始業式でクラス数が確定する形です。事務職員数もその段階でクラス数が増えた関係で、2人増えましたので。最終確認で遅れたという感じですね。

【書記長】

クラス数の確定というのは始業式なので、ちょっと後になりますよね。4月1日時点での配置数はもっと前の段階で分かりますよね？

【職員課副課長】

分かります。ただ、このままでいくだろうという見込みの中での配置になっています。

【事務職員副部長（ 〇〇〇〇 ）】

で、いつ頃研究課に伝わるんですか？

【職員課長】

内示の時かな、伝わるとしたら。3月中旬かそれ以降になりますよね。どうしても。その時期になると SE さんも忙しいくなるんですよ。

【教育研究課副課長】

そうですね。基本的に異動の先生方の ID の再割振り、それから来年度末は GIGA タブレットの卒業児童生徒たちの分を、新たに入ってくる子たちに ID を割り振る作業がでてきますので、研究課としては煩雑な時期になってきます。

【書記長】

年度末はどの部署も忙しいのは分かっていますし、それを1人の SE さんで、何人の SE さんがいるか分からないですけど、それで全部やってくださいよっていう話ではなくて、我々としては、4月1日の時点でちゃんと仕事出来る体制を作って頂きたい。そこが一番の願いなので、そこをタブレットの入れ替えがあつて、ID の割振りがあつて忙しくて出来ませんでしたで、「はい、わかりました」とは言えない。仕事出来る環境を整えていただ

くこと、労働条件を整えていただくことは非常に大切なことですので、その確認に今日は来させて頂いている。極端に言えば、年度末でSEさんが忙しいっていうのも分かりますが、それを整えて頂くのは、当局の方のお仕事じゃないですかと思っています。そこを含めて、煩雑になることを含めて、どのようなシステムを構築すれば4月1日に間に合うのかっていうことを、本当に真剣に考えて頂かないと、今年度の4月から学校事務が動かなかった学校があるんで、それはずれ込んでいくと、子どもたちのお金のことの整理だったりとか、先生の認定のところ非常にずれ込んでいくことが実際生まれてきているので、それを防いで頂きたい。

【事務職員部長】

あと、更新の時は、事務職員数分は確保しますと先ほど言って頂いたんですけど、来年度新しいパソコンが入ってもまた、最近は特別支援学級が増えていてクラスが増ということで、事務職員が大規模加配になったり2人配置になることも見越せるので、更新の時に全事務職員分に割り当てられても、次年度足りないということがないように、その辺を見越した必要台数の確保をお願いしたい。

【職員課長】

4月1日時点での配置の話は、研究課の体制が忙しいということではなくて、業者発注があるので、業者の方でSEの手配がなかなか出来ないというので、決してこちらが忙しくて後回しになっているということではないので、なるべくそこは確保したいが、こちらで早めに動けば対応出来るんですが、どうしても業者の都合によってくるので今年度は遅くなってしまった。そこはご理解くださいと言える部分ではないのですが。

【書記長】

こちらとしては、そういう状況が生まれないように、システム構築や台数のこと、予算のこともあるので無理にお願い出来ないが、それを含めたトータルで、どうやったら4月1日に出来るのかというところをちゃんと考えていただきたい。

【事務職員副部長（ ）】

具体的に、職員課さんから研究課さんに3月中旬に事務職員が増えました、例えば で1人増えましたってなった時にどうされるんですか？

【教育支援室長】

設定の段取りをしていくということになります。

【事務職員副部長（ ）】

例えばそれが から にくるということだったら、 に連絡して引き上げる話をされるということですか。

【教育支援室長】

職員課と検討することになると思います。

【事務職員副部長（ 〇〇〇 ）】

そこから 〇〇〇 から動かした時に、システム変更で 1 週間とかかかってしまうことになって思ったんですけど。どういう段取りするのか教えて頂きたいんですけど。

【教育支援室長】

それはちょっと検討させていただきたい。今年度それで遅れたっていうこともありま
すので、職員課と相談していきたいと思います。

【事務職員副部長（ 〇〇〇 ）】

また回答いただけますでしょうか。具体的な話を聞きたかったので。そういう流れと
いうのは理解出来たんですけど、次回・・・

【職員課長】

異動の関係で分かってしまうので、どうかと思うんですけど。

【事務職員副部長（ 〇〇〇 ）】

だからこそ予備機を置いて、システム変更を先にしておくとか具体的なお話が出
来ないと、結局また同じことが起きるので、具体的にどうするのかになってことが引っ掛
かったんです。

そこだけまた検討頂いて、回答の方をお願いします。

【事務職員副部長（ 〇〇〇 ）】

出来るだけ早くして頂きたいのと、3 月 31 日まで出来るだけ前任校で使いたいと思っ
ているので、そこを考慮して回答をまたお願いします。

【書記長】

今出た分については、具体策が出た段階で回答頂くということでよろしいでしょ
うか。

【職員課長】

また検討させてもらいます。

【書記長】

それでは、今日はこういう場を設けて頂いてありがとうございました。いろんな課題
を解決しながら、現場でも頑張っていきたいと思いますので、またよろしくお願
いいたします。

閉会